

わたしの  
ハマライフ オンラインでできる  
仕事だからこそ

人とのつながりを大切にしたい

～小川さん～

【京都府→浜松市中央区舘山寺町】

今月は、京都府から浜松市中央区舘山寺町に移住して、浜松での暮らし「ハマライフ」を送っている小川さん夫婦（悠都さん、香菜さん）にインタビューしました。現在、悠都さんはご自身が代表を務めるデザイン事務所で、ホームページやチラシなどの制作を行っています。

## ——移住のきっかけは？

移住前、自宅でデザイン制作の仕事をしていて、全国各地から依頼がありました。オンライン上で完結するものが多く、もともと人と向き合っ

て地域に根付いた仕事がしたい、と思うようになり、移住について考え始めました。

移住先を決めるときには、妻の実家のある関西へのアクセスの良さや、温暖な気候などいくつか条件はありましたが、浜名湖の景色がとて

## ——浜松という知らない土地で地域とどのように関わっていったのですか？

移住したばかりのとき、知り合いがほとんどいなかったのですが、SNSで地域の情報収集をしていたところ、「かんざんじマルシェ」という、野菜や果物、雑貨などを販売する地域主催のイベントが月に1度開催

されていることを知りました。その後、自分たちから「何かお手伝いさせてください」と申し出て、参加させてもらうようになりました。

## ——「かんざんじマルシェ」に参加してみたいかでしたか？

もともと人と顔を合わせて仕事をしたかったと思って移住してきたので、来場者と直接会話ができて、人とのつながりを実感できるマルシェはとても魅力的です。出店者とのつながりもでき、仕事の依頼もいた

くようになりました。

最初は会場設営や受け付けの手伝いをしていましたが、出店している人を見ていくうちに自分たちも何か形あるもの、人の手に渡るものを作りたいと思うようになり、浜松の伝統的な技法で染めた注染（ちゅうせん）ぐいをデザインして販売するようになりました。

## ——今後の目標や夢はありますか？

1年前にかんざんじマルシェで知り合った人とのつながりで依頼を受け、舘山寺門前通りのホームページを制作しました。現在は、管理・運営も行っており、観光コースの紹介やイベント情報を発信しています。比較的観光客の目線に近い移住者の私たちが取材することで、地域の魅力が伝わればと思っています。

今後は、自分たちの住んでいる舘

山寺だけでなく、浜松全体の魅力も発信していけたらと思います。

## ——移住を考えている人にメッセージをお願いします。

移住前は、外から来た自分たちのことを受け入れてもらえる心配をしていましたが、移住してみたら全くそんなことはなく、移住コーディネートさんの人がはじめ、地域の人などた

くさんの人が気に掛けてくれて、移住者に対して優しい街だなと感じました。移住を考えている人がいたら、ぜひ地域に飛び込んでほしいと思います。自分たちも新しいことにチャレンジしようとしている人を応援していきたいです。

今後事務所の一角を「コワーキングスペース」やレンタルショップとして貸し出す予定です。地域で働きやすい環境を作り、みんなで一緒に盛り上げていければと思います。

※コワーキングスペースとは、異なる立場や仕事を持った人たちが仕事や活動、交流をする場所のこと



## 【オリジナル 浜松注染てぬぐい】

(小川さん) 市内の注染工場で染めたオリジナルの手ぬぐいで、柄は浜松市の名産品の餃子や、ミカン、オートバイなど全部で6種類です。

「わたしのハマライフ」のこれまでのインタビュー風景を動画で視聴できます。

詳しくはYoutube「ハマライフチャンネル」をご覧ください

市HP▶ ハマライフチャンネル 検索

